



第1回

敬語落語

シリーズ ≪深掘りしよう日本の文化！ ≫
〈言葉と表現〉

オトナ霞が関塾

ここならではの知識・教養に出会える

●出演

三代目 桂 小春團治

平成28年2月2日(火)

18:30 ~ 19:30 (18:00 開場)



○敬語落語とは…

文化庁の国語調査官から「正しい敬語の使い方をわかりやすく説明する落語を作ってほしい」と小春團治に依頼があり、できたのが敬語落語「丁寧ロボットAL9000」。

世界百数十か国の言語がインプットされているヒューノイド型ロボットに、コミュニケーションに不可欠の敬語の使い方を教えるが、日本語は敬語の種類が多く、難しくてロボットの頭脳が混乱して暴れ出すという噺。

(公式HPから引用)

●主催 文化庁/霞が関コモンゲート管理組合/ 新日鉄興和不動産株式会社

●場所 文部科学省「情報ひろばラウンジ」(旧文部省庁舎1階)
東京都千代田区霞が関3-2-2

●入場無料(事前申込不要)

●お問合せ先
文化庁 長官官房政策課
文化広報・地域連携室
TEL 03-5253-4111 内線(2810)



三代目 桂 小春團治

かつら こはるだんじ

本名 三島広幸（みしま ひろゆき）

生年月日 昭和 33 年 2 月 15 日。大阪市出身。

昭和 52 年 立命館大学中退後三代目桂春團治に入門し桂春幸（はるゆき）となる

昭和 54 年 小春に改名

昭和 57・58 年 ABC漫才落語新人コンクール新人賞受賞

昭和 59 年 ポニー・キャニオンより「おもしろ英語落語」（カセット）出版

平成 9 年 文化庁芸術祭新人賞受賞

平成 11 年 道頓堀中座にて三代目桂小春團治を襲名

平成 12 年 世界最大の芸術祭エジンバラ・フェスティバル（英国）に落語家として初めて参加、
独自の字幕方式での海外公演を始める。

以後各国大使館の主催公演や国際演劇祭の招待公演などで、英・仏・米・独・露・ブルガリア・フィンランド・
ベルギー・ノルウェー・トルコ・韓国・カナダなど、のべ 10 数か国で公演。

平成 17 年 松田一志とのユニット「こは・まつ」で大阪弁のラップ・ミュージック「ごめんですんだら警察いらん」CD発売。

平成 18 年 文化庁文化交流使に任命される。

Newsweek 誌「世界が尊敬する日本人 100」に選ばれる。

落語家で初となる落語のNPO法人「国際落語振興会」設立。

平成 19 年 落語家初となるニューヨーク、ブロードウェイ公演。

文化庁芸術祭優秀賞受賞

平成 22 年 落語家初となるニューヨーク国連本部とカーネギーホールで公演。

出囃子 小春團治囃子・栗餅

趣味 サックス・三味線・映画鑑賞・パソコン

所属事務所 松竹芸能株式会社

《次回予告》

シリーズ第 2 回は平成 28 年 5 月開催！（詳細は文化庁 HP に掲載予定）